

## 埼玉県地域医療構想 今後の方向性 取組実績一覧

## 県央保健医療圏

(1)医療機能の分化・連携及び病床の整備			
	今後の方向性	取組の内容・実績	来年度の取組(案)
1	・一定数の増床(約270床)により、将来の医療需要に対してある程度対応が可能となるのではないか。	1 医療・介護連携に関する意見交換会の開催 第7次医療整備計画に基づく地域包括ケア病棟の整備(増床)を行うにあたり、医療機関・介護施設等の関係者による医療・介護連携に関する意見交換会を開催し、地域連携による地域完結型医療の構築を推進した。 (開催回数:R元年度 1回開催 参加医療機関・介護施設数12)	1 圏域の病床機能の現状と今後の方向性の明確化 地域医療構想調整会議において、病床機能報告及び病床機能報告定量基準分析結果について検討する。 必要に応じて、病床を有する医療機関に、現在の病床機能・今後の方向性について説明を求め、圏域に不足する病床機能等の課題を明確にする。
2	・関係者間の連携が重要であることから、つなぎ役を担うコーディネーターとして地域をコントロールできる能力のある人材の養成が不可欠である。		

(2)在宅医療等の体制整備

	今後の方向性	取組の内容・実績	来年度の取組(案)
1	<p>・在宅医療を支える人たちを地域包括ケアシステムによりバックアップする仕組みを整備する必要がある。</p>	<p>1 入退院支援ルール策定に向けた協議の開始 R3年9月に入退院支援ルール策定研修会を開催し、北足立郡市・上尾市医師会管内それぞれが、入退院支援ルール策定に向けた協議を開始した。 (北足立郡市医師会管内開催回数:R3年度 1回開催(書面) 参加団体数26) (上尾市医師会管内開催回数:R3年度 2回開催 参加団体数12)</p> <p>2 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会の開催 H30年3月に、身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備検討会を設置し、課題について検討した。H31年3月に、検討結果について報告書を取りまとめた。R元年度に、検討会は連絡会に移行した。 (開催回数:R元年度 2回開催 参加団体数8) (開催回数:R2年度 開催なし(新型コロナウイルス感染症の影響)) (開催回数:R3年度 1回開催 参加団体数8)</p>	<p>1 入退院支援ルール策定に向けた協議の実施、入退院支援ルールの運用開始 入退院支援ルールの協議を実施し医療・介護関係者の連携を進める。(北足立郡市医師会管内、上尾市医師会管内ともに、令和4年度中に入退院支援ルールの運用開始予定)</p> <p>2 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会の開催 連絡会を開催し、身寄りのない高齢者等に係る課題等を共有していく。</p>
2	<p>・医療機関から在宅医療への移行だけでなく、地域に潜むニーズを掘り起こし、そのニーズに対応していく必要がある。</p>	<p>3 連携推進会議、地域ケア会議等の開催 連携推進会議等を開催し、多職種連携を推進した。 (例:在宅医療・介護連携推進会議、自立支援型地域ケア会議)</p>	<p>3 連携推進会議、地域ケア会議等の開催 連携推進会議等を開催し、多職種連携を推進する。 (例:在宅医療・介護連携推進会議、自立支援型地域ケア会議)</p>
3	<p>・医療機関間及び医療・福祉の連携を推進するため、連携のための体制整備やコーディネーター等の人材育成を図る。</p>	<p>4 研修会、講演会等の開催 市町、医師会、歯科医師会、保健所等において人材育成を目的とし、医療・介護関係者を対象とした研修会等を開催した。</p> <p>※R3年度の開催回数は、R3年12月3日時点</p>	<p>4 研修会、講演会等の開催 市町、医師会、歯科医師会、保健所等において人材育成を目的とし、医療・介護関係者を対象とした研修会等を開催する。</p>